

セーブ・ザ・チルドレン 子ども給付金 ～新入学サポート2024～

利用者アンケート調査結果

セーブ・ザ・チルドレン
子ども給付金
新入学サポート **2024**

(イメージ)

2024年7月
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部

子ども給付金 ～新入学サポート2024～ 利用者アンケート調査概要

※「子ども給付金 ～新入学サポート2024～」事業概要については、最終ページ参照

【調査の目的】

- 子どもや保護者が抱える負担や制約を明らかにし、特に就学に必要な費用について把握すること。
- 子どもの貧困対策における就学費用に対する支援の充実に向け、本調査結果を国、地方自治体における政策提言につなげること。

【調査対象】

子ども給付金 ～新入学サポート2024～(以下、新入学サポート2024)を利用した子ども995人、保護者 899人(899世帯)

※兄弟姉妹での認定もあるため、子どもの人数と世帯数に差がある。

【調査地域】 全国(46都道府県) ※鳥取県の利用は0

【調査方法】 利用世帯に対し、オンラインアンケートを案内し任意回答

【回収期間】 2024年4月26日～5月10日

【有効回答数】 (子ども)234人/995人 回答率23.5%、(保護者)564人/899人 回答率62.7%

・本調査は2016年、2017年、2018年、2021年、2022年、2023年に続き7度目の実施となる(ただし過去4回2021年までは東北地域のみで事業・調査を実施)。

【利用者数】

899世帯	人数			備考
	中1	高1	計	
男	252	293	545	・ ひとり親世帯 760世帯 (うち、母子家庭741世帯、父子家庭15世帯、その他ひとり親世帯4世帯) ・ ふたり親世帯 133世帯 ・ その他世帯 6世帯
女	204	245	449	
回答しない	0	1	1	
計	456	539	995	

アンケート調査結果のハイライト

※回答結果は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

1. 高額なパソコン・タブレット代、義務教育はタブレット無償も機器本体以外の費用負担あり

GIGAスクール構想により中学校ではパソコン・タブレット購入の実質的な負担はないものの、保護ケースなどのアクセサリ購入や家庭でのインターネット環境の整備など、機器本体以外の費用の負担が生じている(グラフ13)。高校では私立で約7割、国公立でも約半数近くがパソコン・タブレットの購入が必要だったと回答しており(グラフ9、10)、平均額は6～8万円と高額である(表8)。一方、自治体や学校からの補助は国公立で約4割に留まっている(グラフ11)。(保護者アンケート結果)

2. 中高入学のための準備金については7万円以上が適切

就学援助制度の入学前支給(入学準備金)の適切な額について尋ねたところ、制度を利用した中1保護者の約6割が7万円以上と回答した(グラフ16)。また高1保護者では入学準備のための適切な額として約8割が7万円以上と回答し、うち約3割が14万円以上と回答した(グラフ20)。(保護者アンケート結果)

3. 約半数が経済的理由のため高校就学を継続できない可能性

高1保護者の約半数が「経済的な理由により就学を続けられない可能性がある」と回答した(グラフ17)。そのうち約4人に1人が「学校納付金」を一番大きな負担となっている費用と回答した(グラフ18)。(保護者アンケート結果)

4. 中高生の半数以上が入学に必要なお金を懸念

中高生の9割近くが家の暮らしについて「大変苦しい」「やや苦しい」と回答(グラフ25)、また半数以上が入学に必要なお金の悩みがあると回答した(グラフ26)。(中高生アンケート結果)

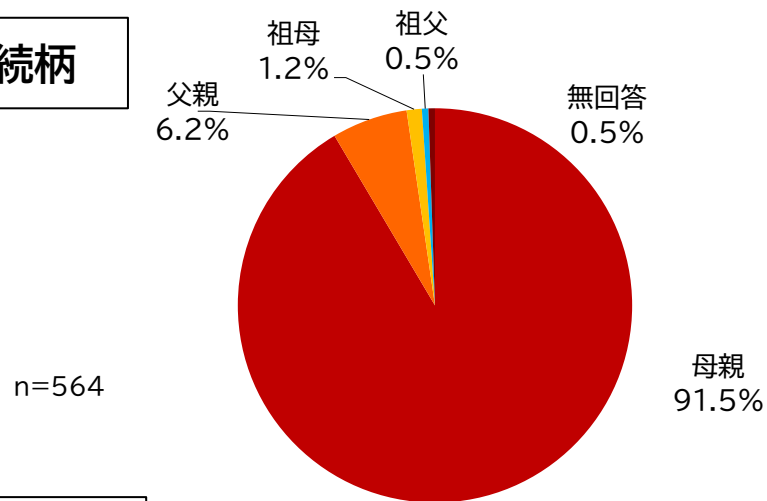
5. 中高生・保護者ともに制服・運動着への支援を求める声が約8割

中高生、保護者ともに、約8割が卒業・新入学にかかる費用の支援について「制服・運動着などを安く買うことができるようにすること」が必要であると回答した。保護者と中高生の回答の差が最も大きかったのは「部活動・クラブ活動にお金がかからないようにすること」で、部活動・クラブ活動費に支援を求める声は中高生で保護者よりも約10ポイント高く6割以上だった(グラフ29)。(中高生、保護者アンケート結果)

調査対象世帯の構成（保護者、単数回答）

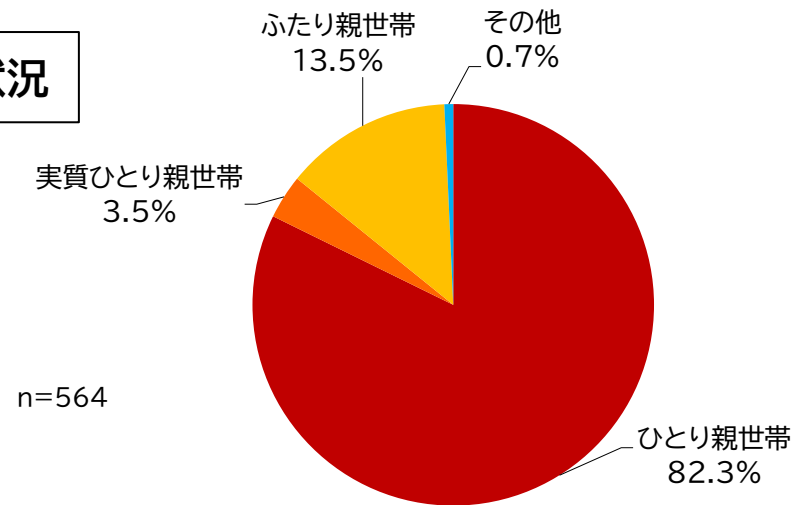
Q. 回答者の続柄

グラフ1



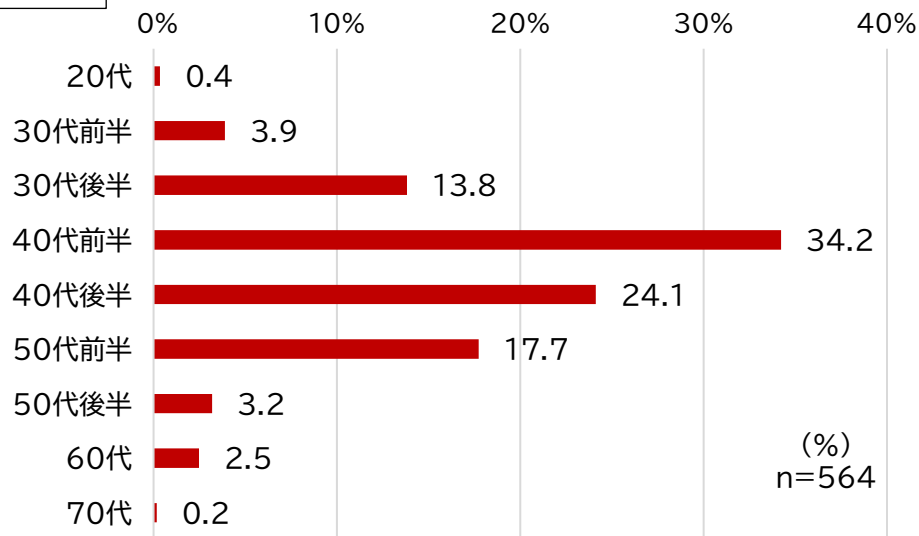
Q. 世帯の状況

グラフ2



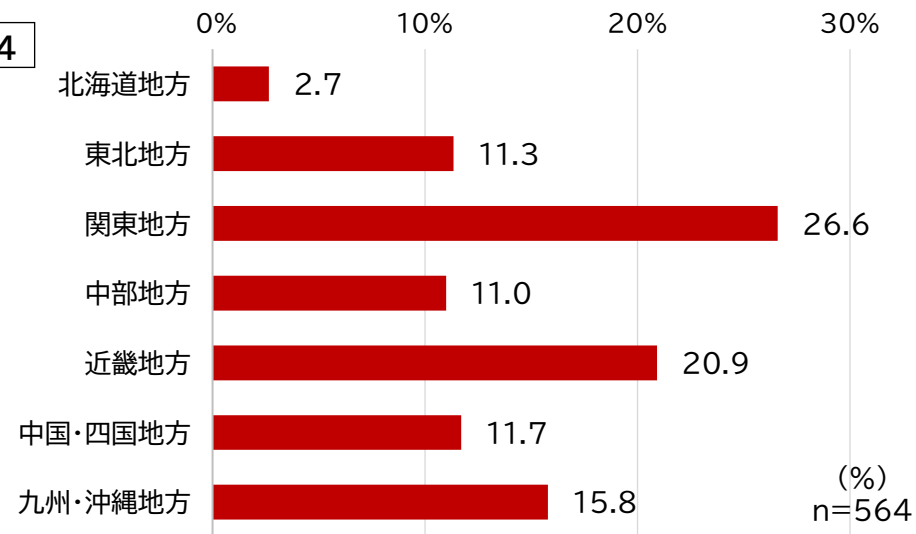
Q. 回答者の年代

グラフ3



Q. 居住地

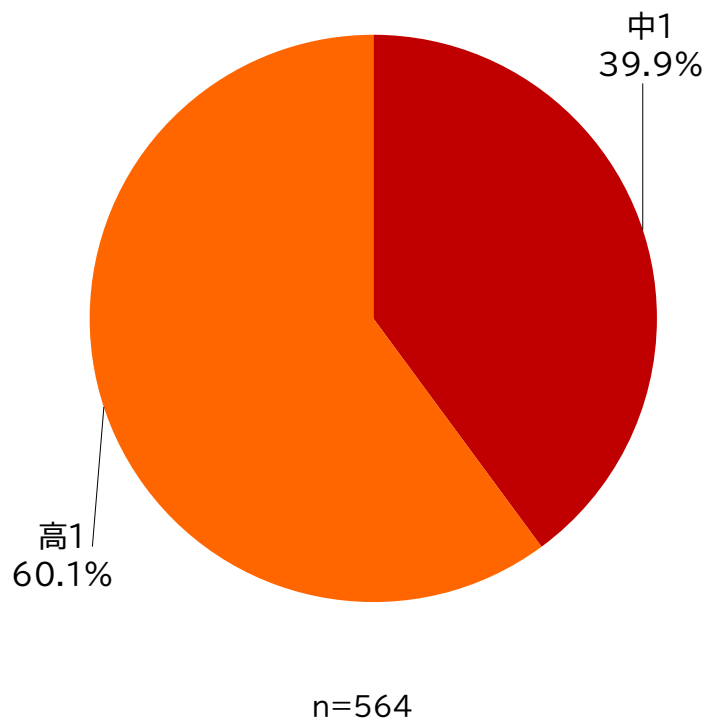
グラフ4



給付金対象の子どもの学年・学校種別について(保護者、単数回答)

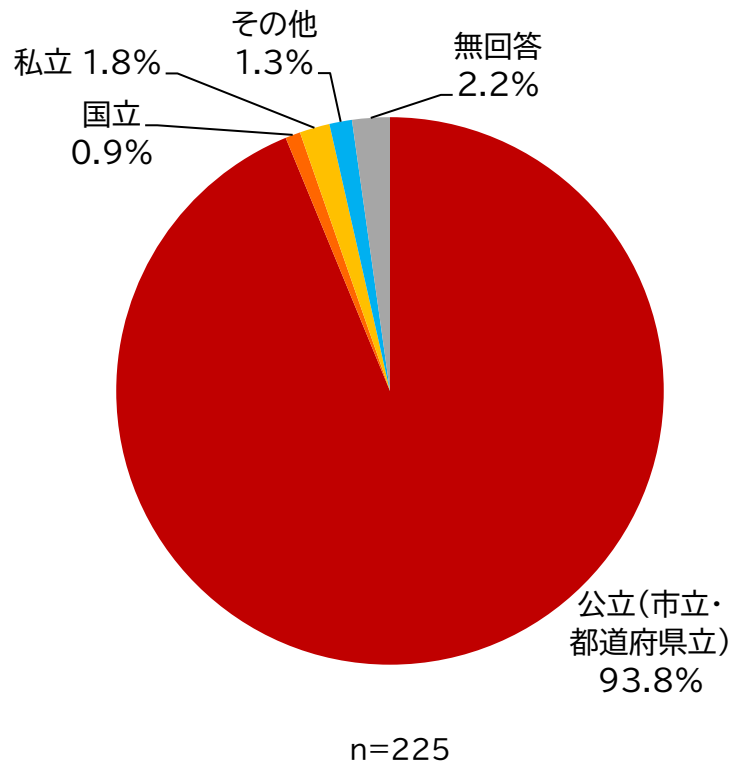
Q. 給付金対象の子どもの学年

グラフ5



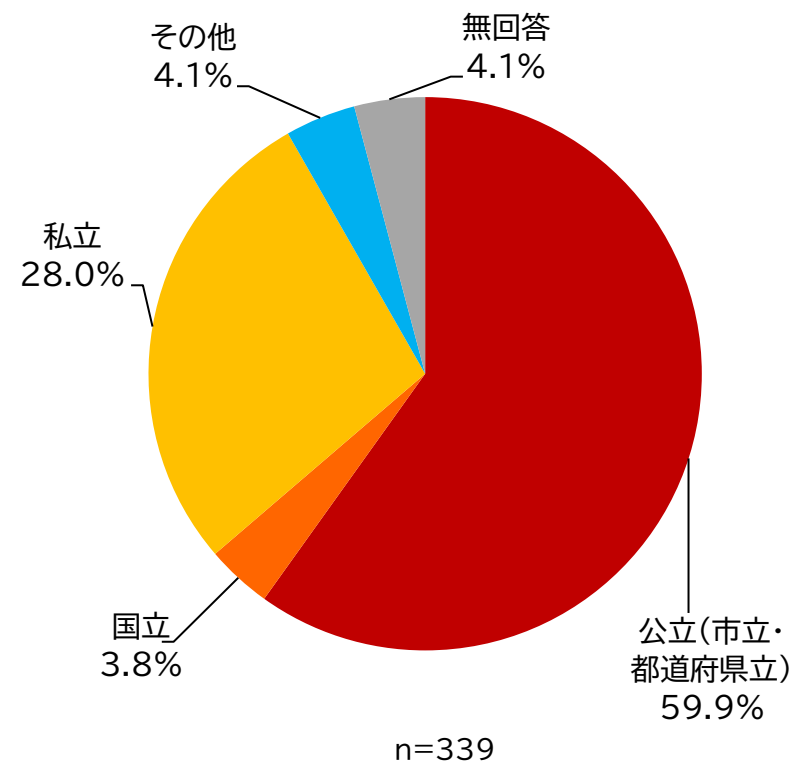
Q. 中1の学校種別

グラフ6



Q. 高1の学校種別

グラフ7

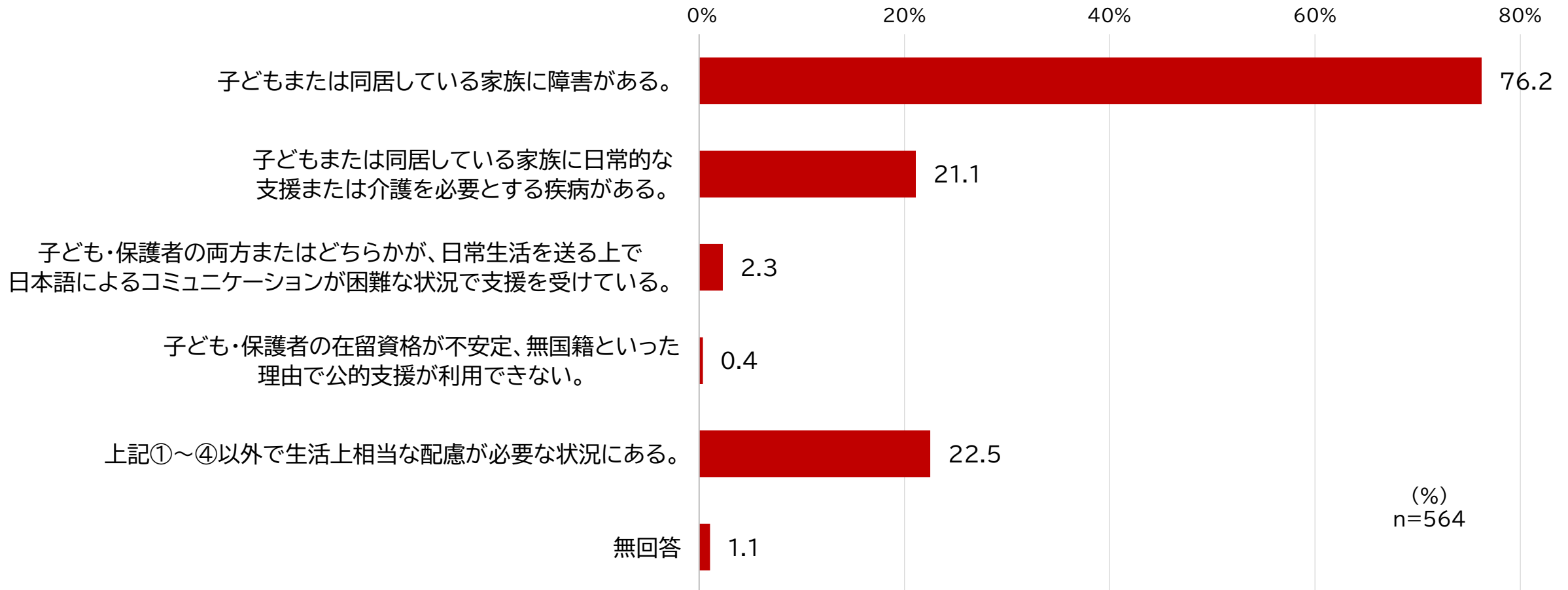


※中1と高1のきょうだい両方が給付対象の場合は、年長の子どもについて回答。

利用世帯の生活の状況(申請時の申請条件)について(保護者)

Q. 申請時に選択した申請条件についてあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

グラフ8



卒業や就学準備にかかわる費用について(保護者)

Q. 卒業・就学準備に必要な費用について、養育者でご負担された金額はどれくらいですか。

※n数は、各質問に回答した中1・高1保護者の人数(重複回答なし)

表1 制服代についての全国平均額

学年	n数(人)	平均額
中1	184	5万6,331円
高1	258	7万615円

表2 運動着代についての全国平均額

学年	n数(人)	平均額
中1	181	2万3,066円
高1	260	2万5,050円

表3 学校で使用する教科書・教材代についての全国平均額

学年	n数(人)	平均額
中1	103	1万5,801円
高1	234	3万4,549円

表4 卒業アルバム代についての全国平均額

学年	n数(人)	平均額
中1	112	1万1,587円
高1	140	1万1,853円

高校種別・国公立/私立別の平均額(高1保護者)

Q. 卒業・就学準備に必要な費用について、養育者でご負担された金額はどれくらいですか。

※n数は、各質問に回答した高1保護者の人数(重複回答なし)

表5 制服代についての全国平均額

高校種別	n数(人)	平均額
国公立 (国立・都道府県立・市立)	167	6万3,350円
私立	73	9万939円

表6 運動着代についての全国平均額

高校種別	n数(人)	平均額
国公立 (国立・都道府県立・市立)	186	2万3,183円
私立	57	2万8,775円

表7 学校で使用する教科書・教材代についての全国平均額

高校種別	n数(人)	平均額
国公立 (国立・都道府県立・市立)	161	3万3,228円
私立	61	3万8,118円

表8 パソコン・タブレット代についての全国平均額

高校種別	n数(人)	平均額
国公立 (国立・都道府県立・市立)	75	6万496円
私立	48	8万6,727円

パソコン・タブレット代について、2023年度の調査※と比較し、国公立で平均額が約7,000円ほど上昇している。p.10のパソコン・タブレット本体機器以外にかかる費用も合わせると、その経済的負担はかなり大きい。それ以外の費目についてはおおむね2023年と同程度の金額となっている。

※セーブ・ザ・チルドレン「子ども給付金～新入学サポート2023～」利用者アンケート調査結果報告書_ダイジェスト版, p.5参照。

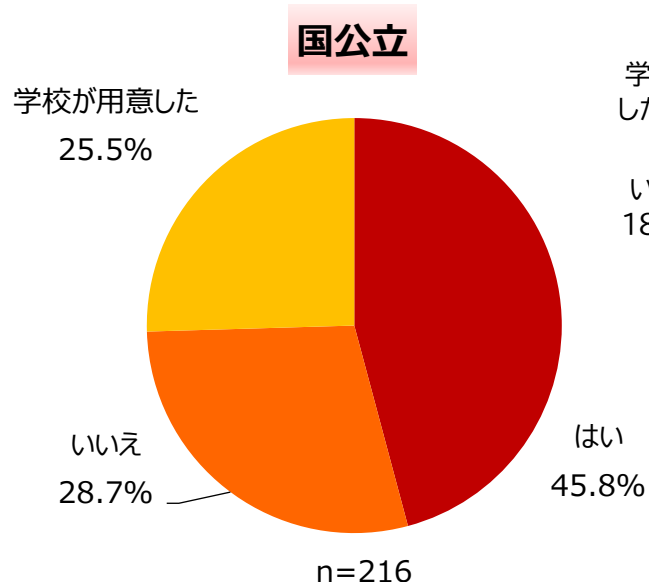
パソコン・タブレット購入について(高1保護者)

※自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。()内は、回答者の属性、世帯の状況、居住地。または子どもの学年、性別、居住地。

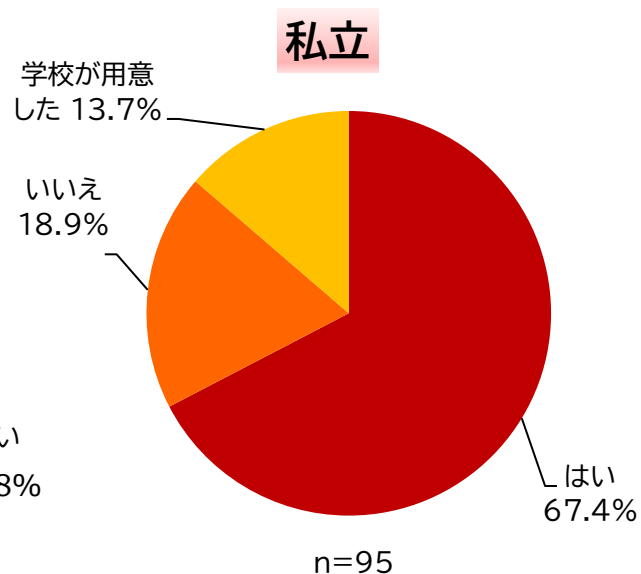
Q. 入学にあたって、タブレット・パソコンの購入が必要でしたか。(単数回答)

※p.5グラフ7「高1の学校種別」より、国公立と回答した216人、私立と回答した95人の保護者を対象に質問)

グラフ9

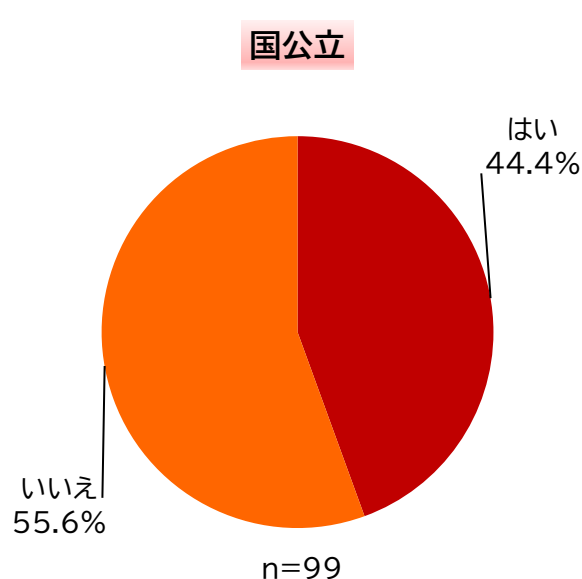


グラフ10

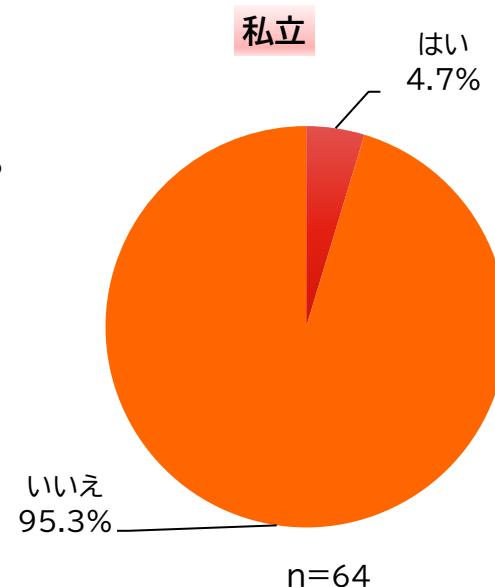


Q. (左の質問で「はい」と回答した人のみ)パソコン・タブレット購入にあたって、自治体や学校からの補助金や助成金がありましたか。(単数回答)

グラフ11



グラフ12



<自由記述より>

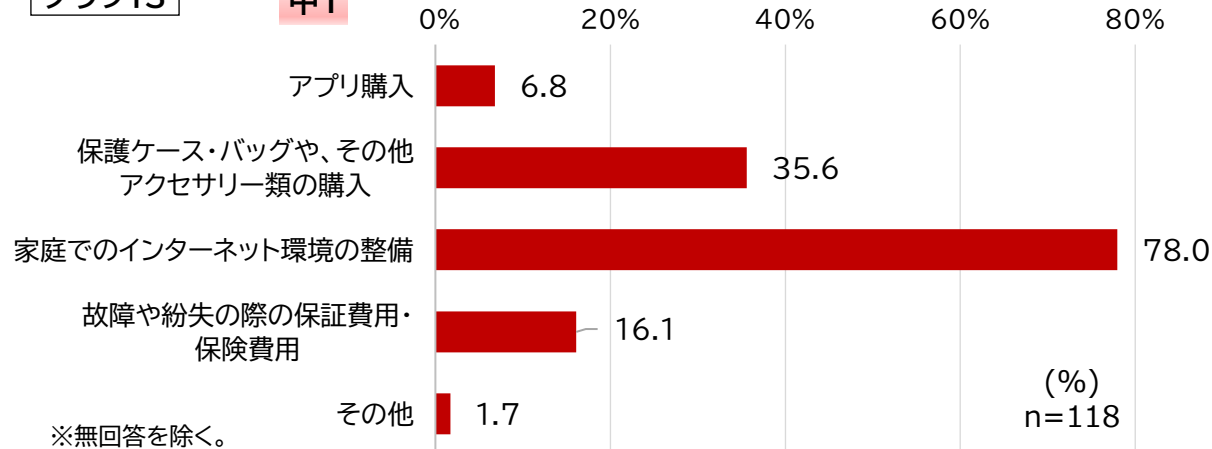
- パソコンや電子辞書など、かなりの高額な費用が必要だった。購入費用は家族が負担しなくて良い方法を取って欲しい。購入代金そのまま行政から業者に支払われる方法が良い。(高1の祖母、ふたり親、広島県)
- ハイスペックなパソコン、携帯を購入するよう指定されたため、とても費用がかさんだ。(高1の母、ひとり親、北海道)
- タブレット購入が基本となり、思っていた以上の出費があった。(高1の母、ひとり親、神奈川県)
- パソコンやタブレット教育は必要だと思うが、それを整えるのが厳しい家庭もあるので、教育内容や必要なものに対して柔軟に補助金などを考えてほしい。(高1の母、ひとり親、高知県)
- 小中学校はタブレットとかバック貸し出しになるので、高校もそうなれば良いなと思いました。(高1、女子、福岡県)

パソコン・タブレットの本体以外の購入について(保護者)

Q. パソコン・タブレット機器本体以外で、学校または家庭でのオンライン学習にあたって費用が発生したのものについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

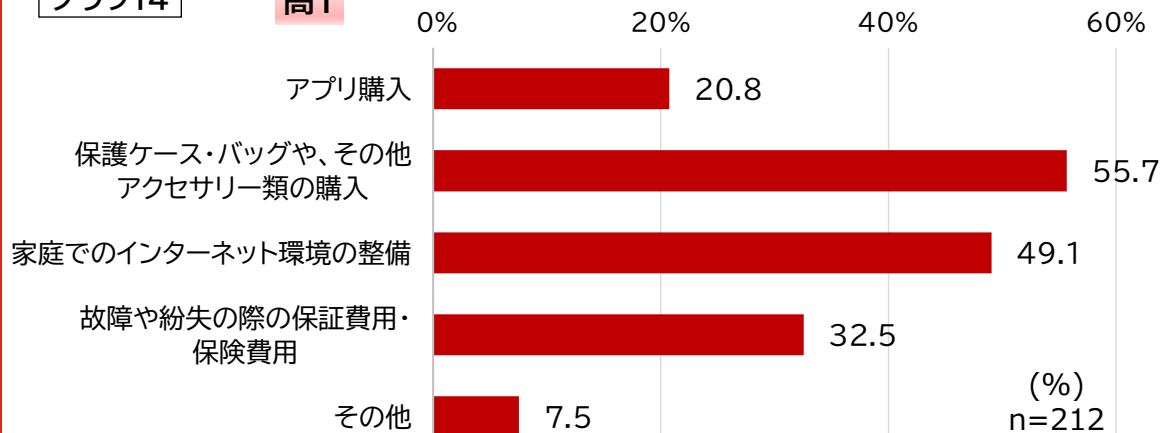
グラフ13

中1



グラフ14

高1



Q. 左の質問で選択したパソコン・タブレット機器本体以外にかかった費用の具体的な金額を記入してください。

表9

	n数(人)	平均額
中1	33	1万1,065円

表10

高校種別	n数(人)	平均額
国公立 (国立・都道府県立・市立)	63	1万5,982円
私立	29	2万510円

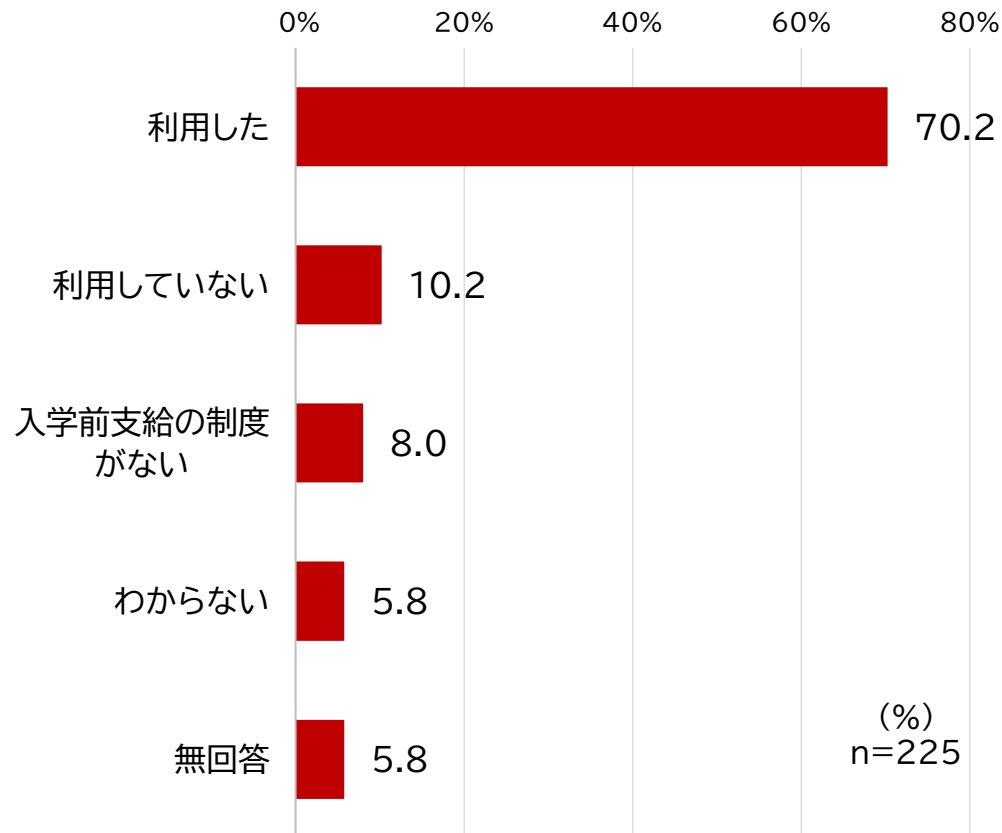
<自由記述より>

- タブレットなどの故障などの保証は学校側で入ってほしい。卒業とともに高額請求されるのがこわい。(高1の母、ひとり親、岐阜県)
- パソコンが壊れたときやバージョンアップで再購入する際の費用捻出が困難。(高1の母、ひとり親、東京都)

就学援助制度について(中1保護者)

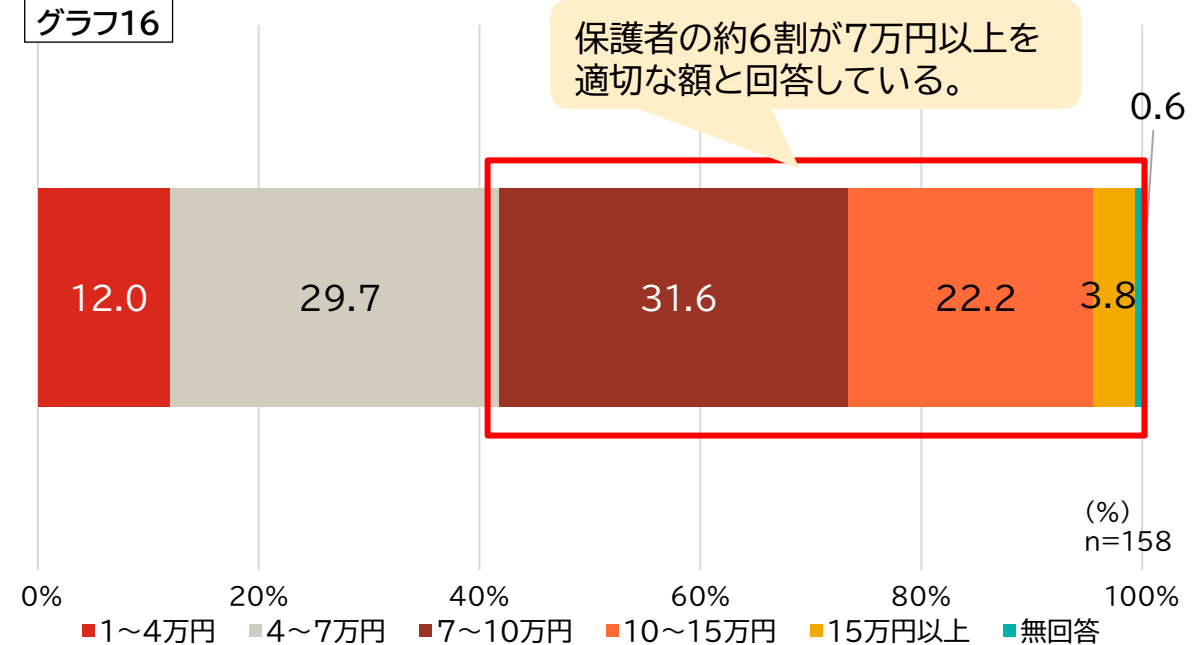
Q. (中1のお子さんがある人のみ)今年の新入学にあたって、就学援助制度の入学前支給を利用しましたか。(単数回答)

グラフ15



Q. (左の質問で「利用した」と回答した人のみ)就学援助制度の入学準備金(入学前支給)について、適切と考える額を教えてください。(単数回答)

グラフ16



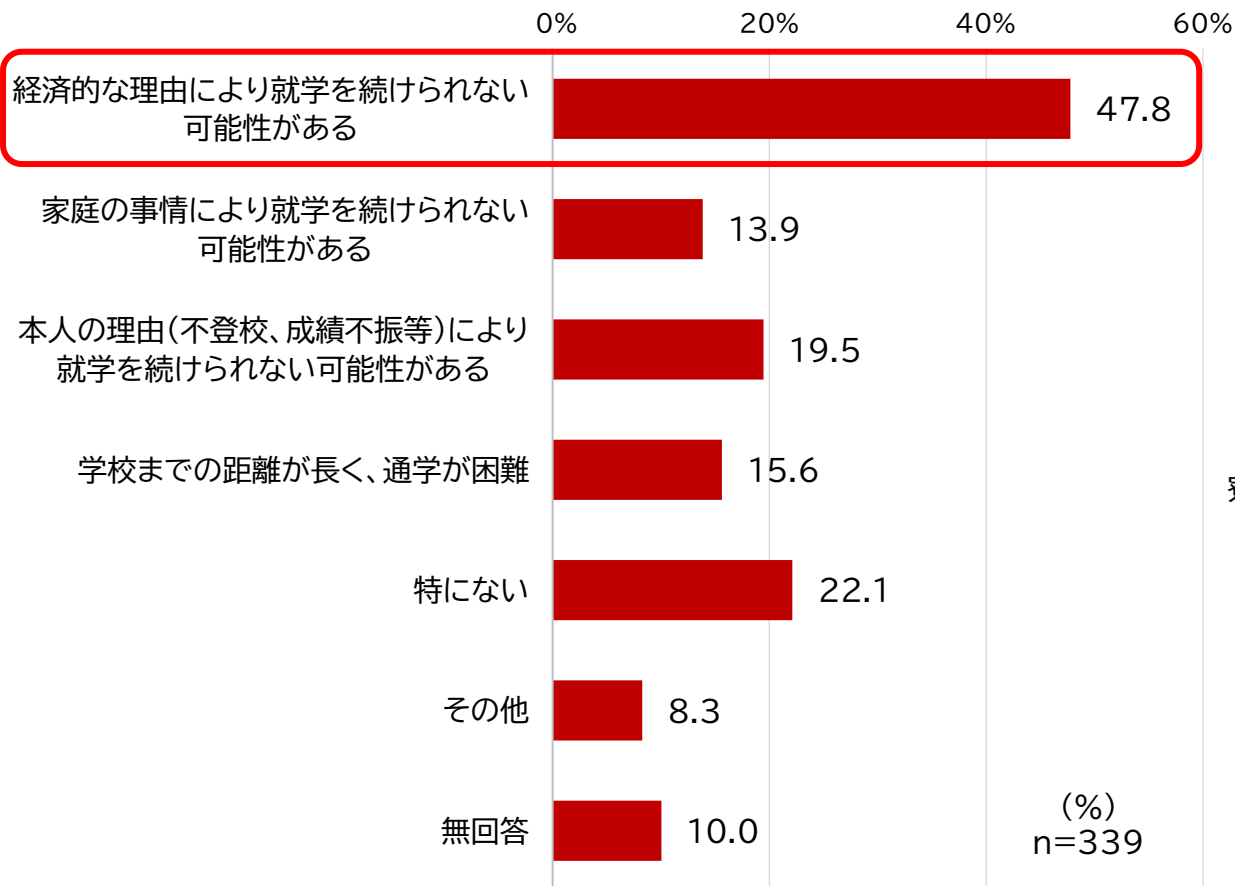
<自由記述より>

- 就学援助制度の入学準備金で63,000円支給してもらいました。もちろん、とてもありがたいのですが、制服代だけで69,000円になり、入学後にも追加で、教材費や校外学習代の請求もあり、その辺りもまかなえるくらいの準備金であってほしいです。(中1の母、ひとり親、宮城県)

高校生の生活について(高1保護者)

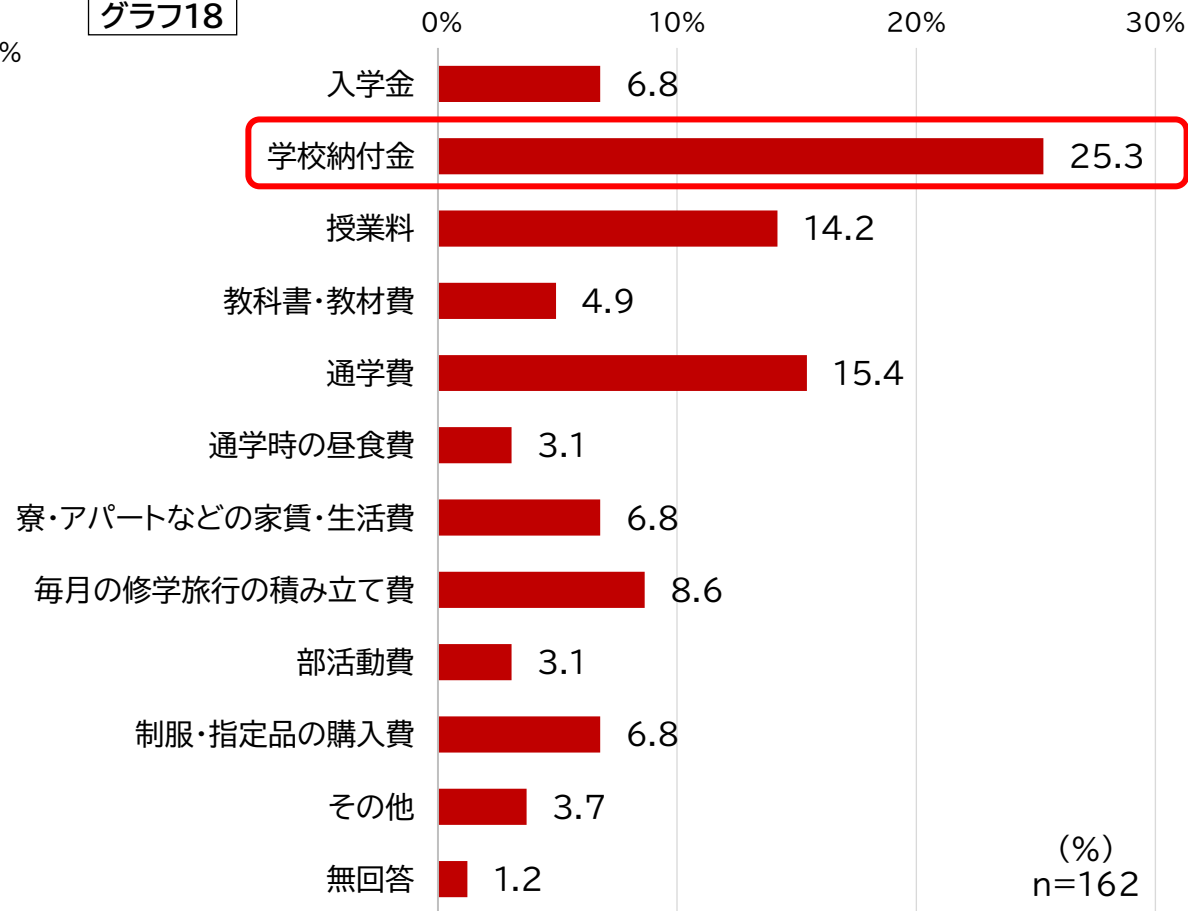
Q. お子さんの高校就学について、心配なことはありますか。(複数回答)

グラフ17



Q. (経済的理由で就学継続困難な保護者)高校の就学継続に一番大きな負担となっている費用について教えてください。(単数回答)

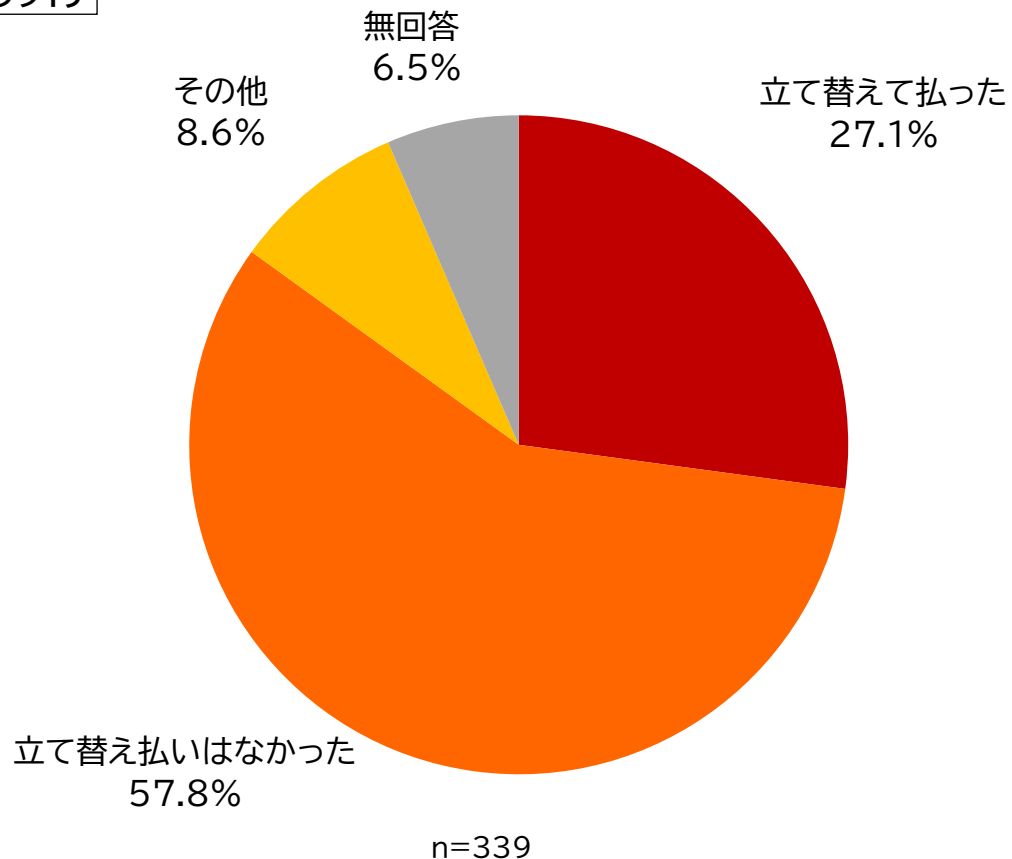
グラフ18



高校授業料立て替えや入学のための準備金について(高1保護者)

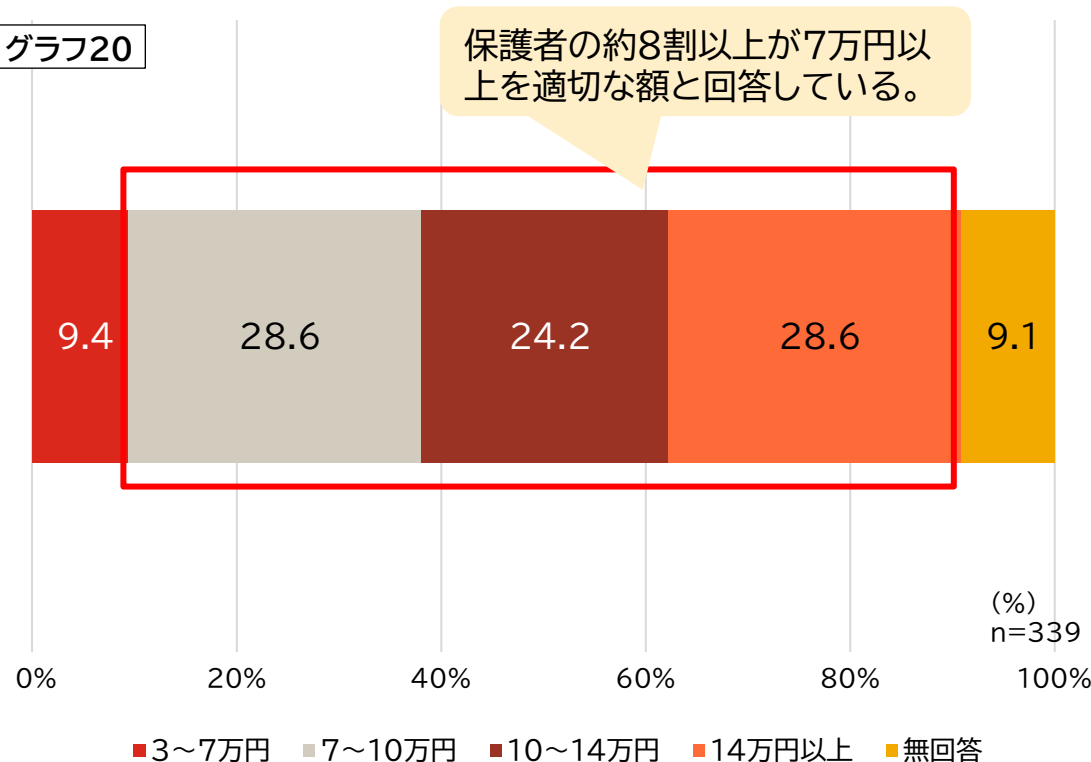
Q. 高等学校等の授業料無償化により実質授業料の支払いがない場合でも、授業料の立て替え払いはありましたか。(単数回答)

グラフ19



Q. 高校入学のための準備金として、適切と考える支援額を教えてください。(単数回答)

グラフ20

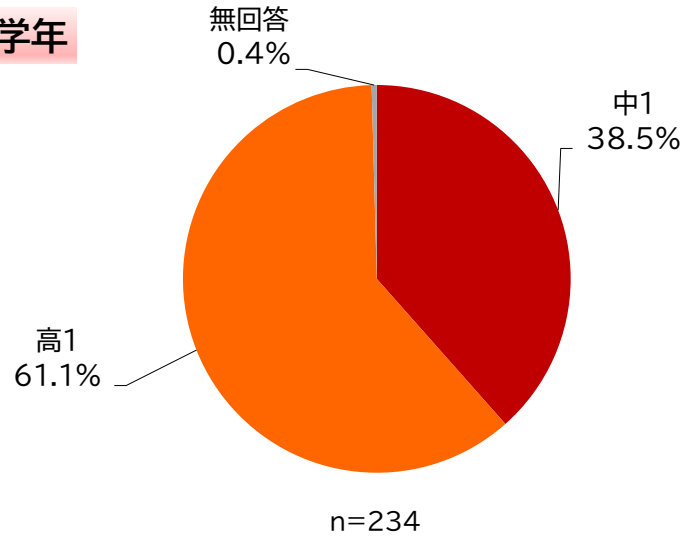


高校入学にあたっては、中学入学よりも費用がかかるとされるものの、小中学校の就学援助制度の入学前支給(入学準備金)にあたるものはない。高1保護者の約8割以上が高校入学のための準備金として7万円以上を適切な額と考えており、高校入学時の費用負担の重さが伺える。

調査に回答した中高生の構成（中高生、単数回答）

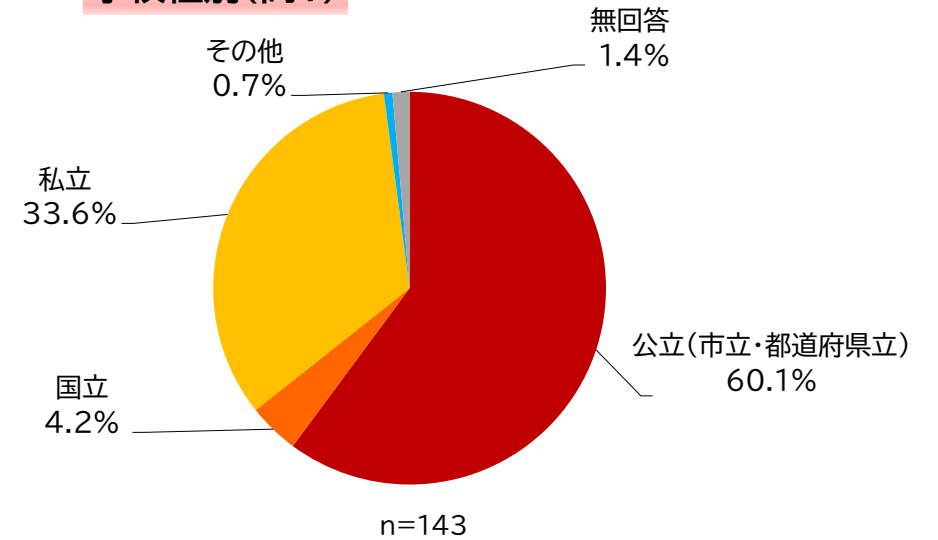
グラフ21

学年



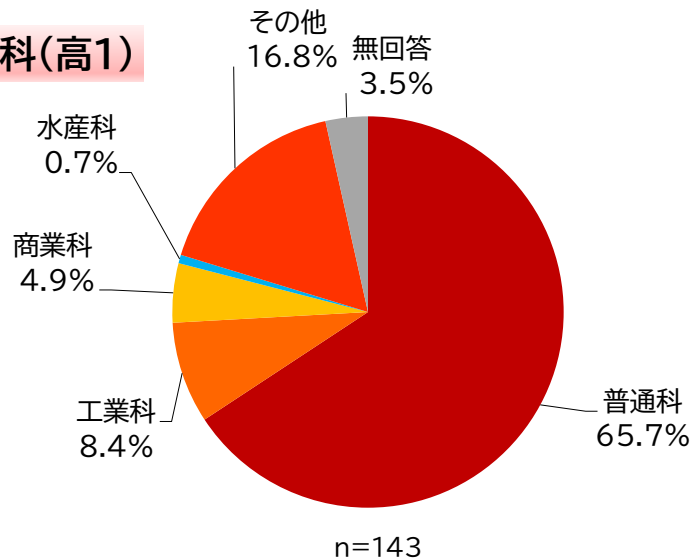
グラフ22

学校種別(高1)



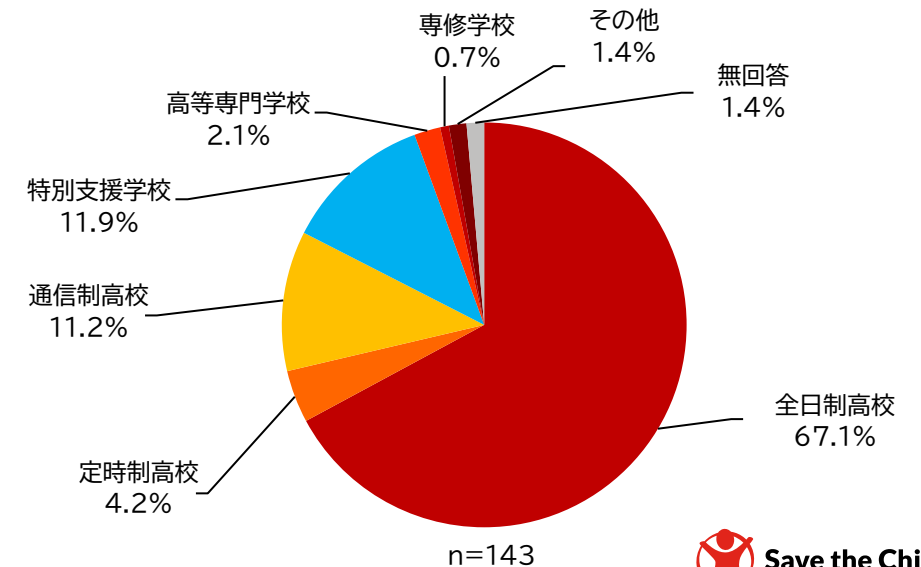
グラフ23

学科(高1)



グラフ24

学校の種類(高1)

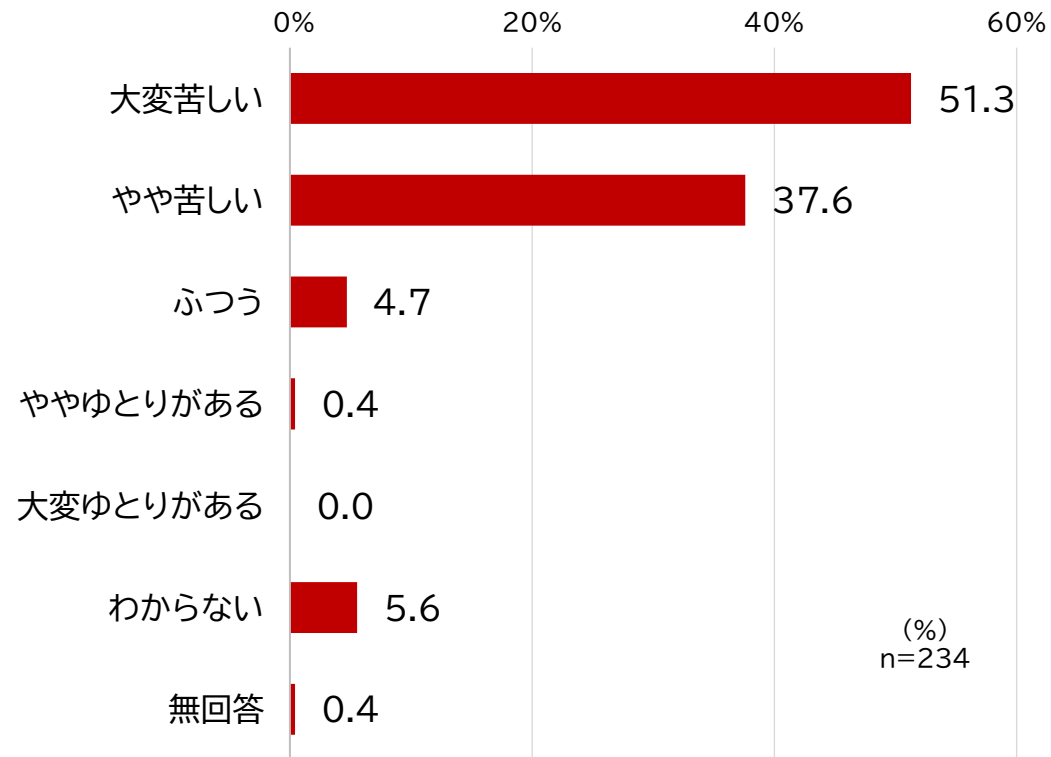


家の暮らし向きや、入学に必要なお金について(中学生)

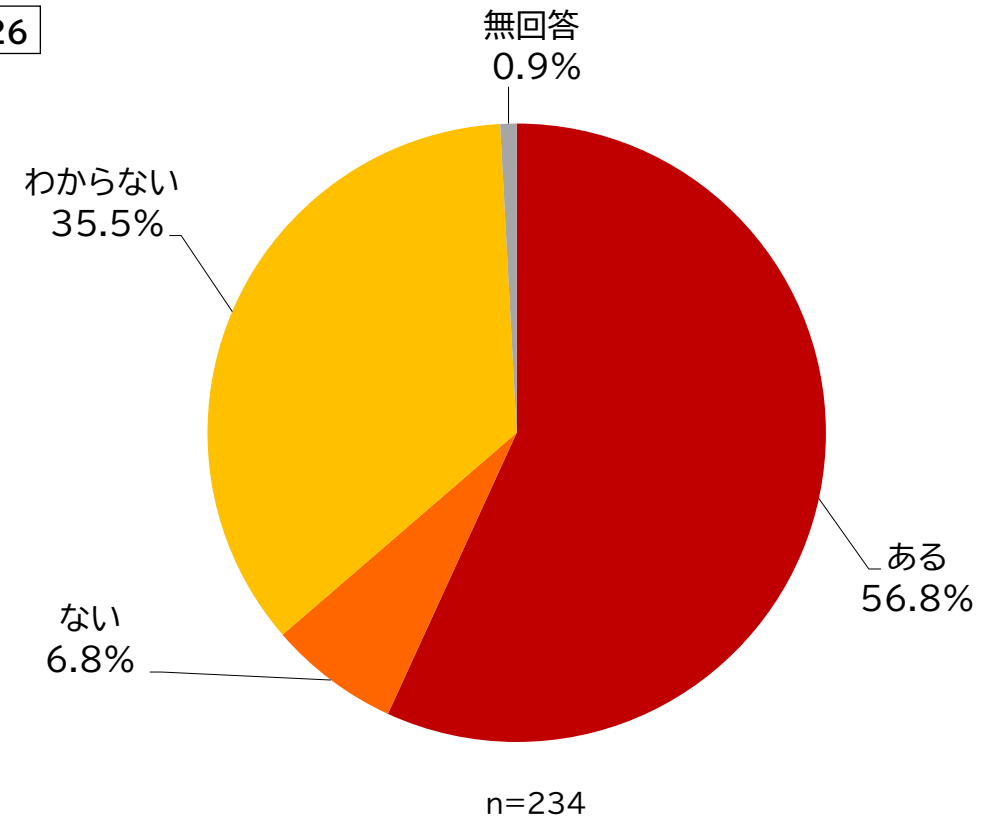
Q. あなたの家の暮らしは、経済的に(お金に関して)は、次のどれにあたると思いますか。(単数回答)

Q. 入学に必要なお金のことで何か悩み事がありましたか?(単数回答)

グラフ25



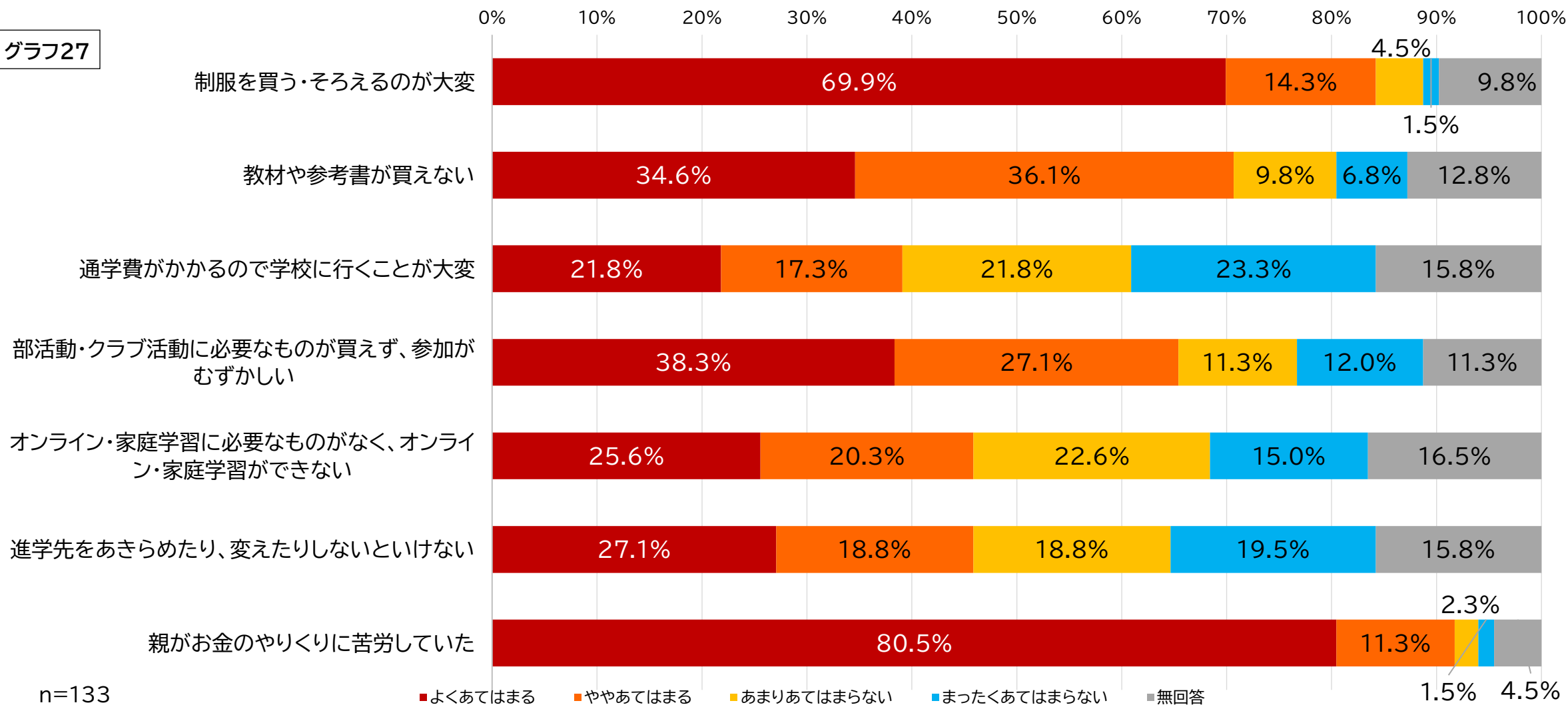
グラフ26



入学に必要なお金について(中高生)

Q. 前のページの質問で入学に必要なお金のことで心配が「ある」と答えた人は、以下の項目についてそれぞれあてはまるもの1つを選んでください。(各単数回答)

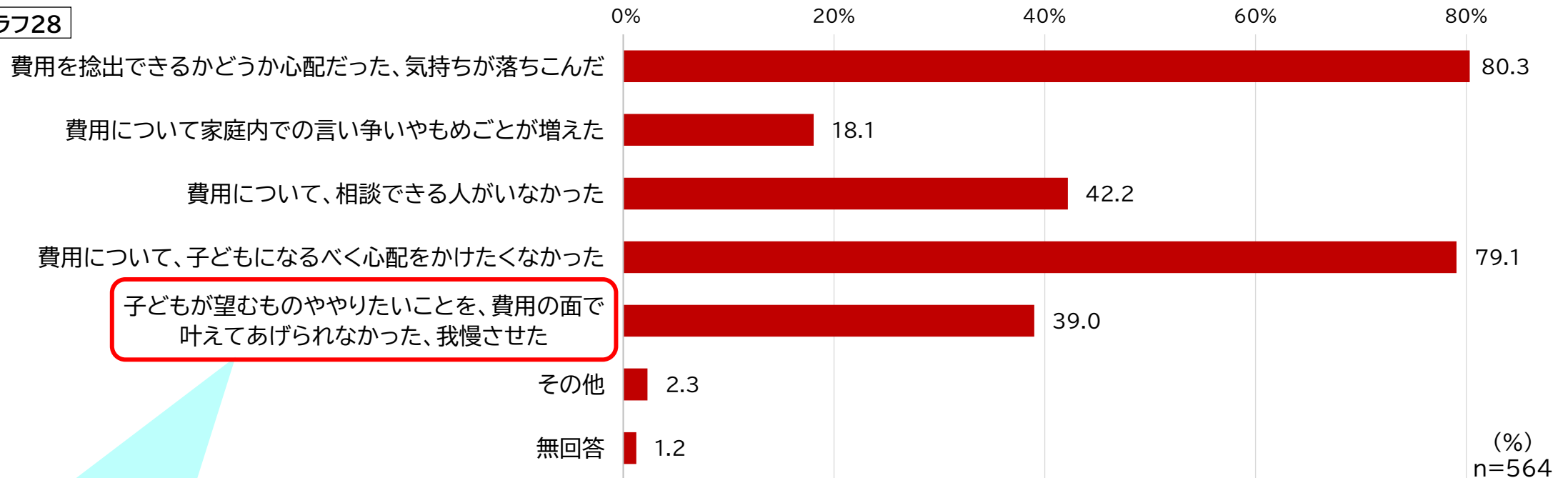
グラフ27



卒業・入学にかかるお金について(保護者)

Q. 卒業・新入学にかかる費用についてのあなたの気持ちや状況について、あてはまるものすべてを選んでください。(複数回答)

グラフ28



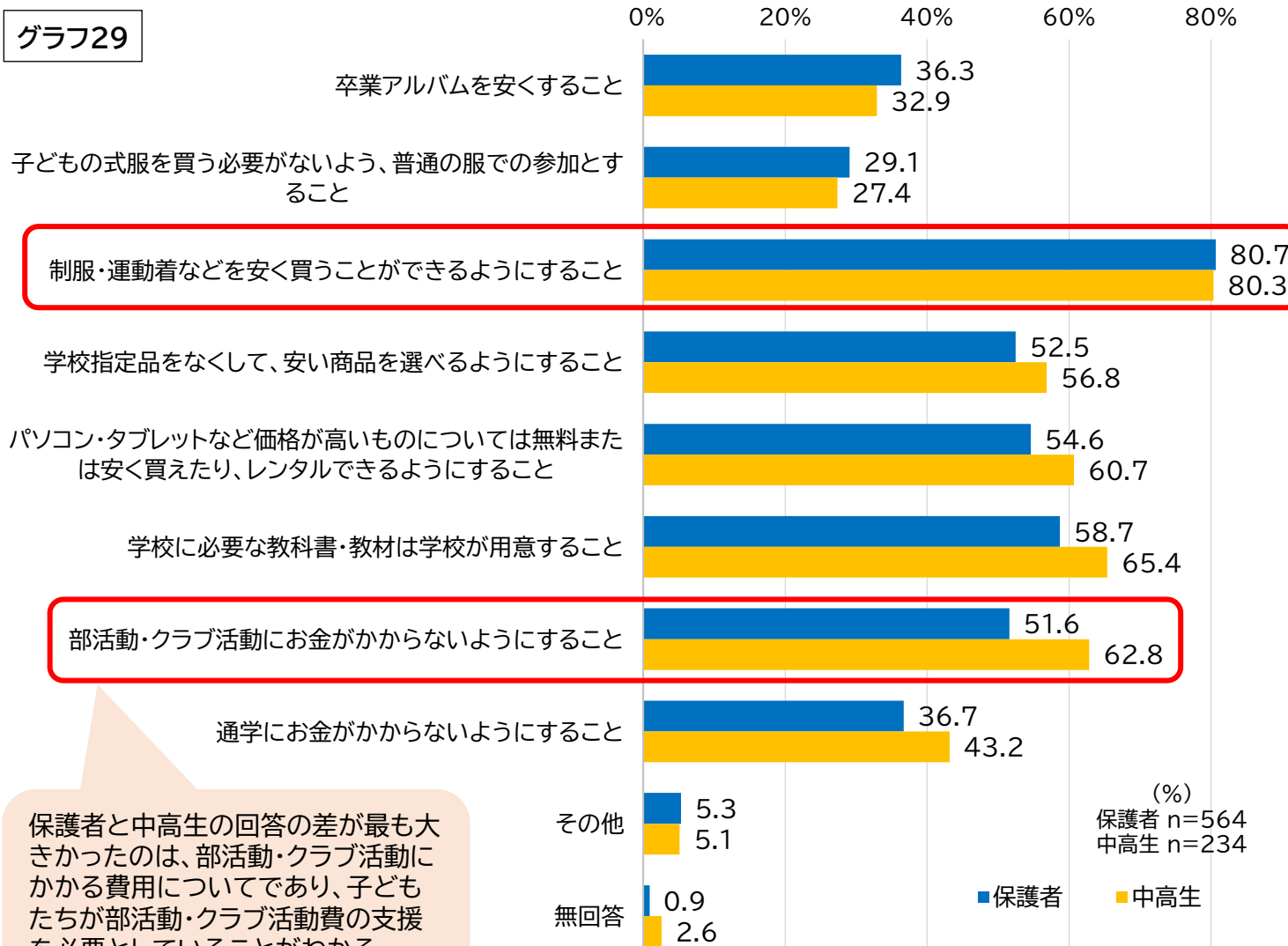
<具体的に叶えてあげられなかったことについての自由記述>

- ・ 遠方の交通費がかかる偏差値の高い高校受験を諦めた。(高1の母、ひとり親、兵庫県)
- ・ 私立には絶対行かせられなかったので希望校を変え…挑戦させてやることができなくて親子で毎夜苦しんだ。無言で下を向いて、考え込んでいました。現に入った高校でも購入物がうちだけ買えてなくて遅れて購入しましたが、子どもも恥ずかしかったことでしょう。子どもたちが成人するまでなんとか支えてやりたい。(高1の母、ひとり親、大阪府)
- ・ ボロくなった上履き、小さくなってきた通学靴の新調やスポーツをやる話が出て、まだ履ける、そんなものを買うより食料を買おうと言って、食費を優先しようとして子どもから言ってきた。いつも「今月あといくら食費がある?」と心配してくる。(高1の母、ひとり親、岡山県)

子どもの学びとお金について(保護者・中高生)

Q. 卒業・新入学にかかる費用についてどんな支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。(複数回答)

グラフ29



保護者と中高生の回答の差が最も大きかったのは、部活動・クラブ活動にかかる費用についてであり、子どもたちが部活動・クラブ活動費の支援を必要としていることがわかる。

<部活動・クラブ活動についての中高生の声(自由記述より)>

- クラブ活動がしたいけど道具を買えない。(中1、男子、京都府)
- もうすぐ部活のユニフォーム代、指定のジャージ代等で10万円ほどかかることを聞いた。バッシュも指定の色があったので、3回ほどしか履いてないバッシュだったけど、指定の色を買い直すことになったので、部活にすごくお金がかかるので、そこまでお金をかけずに部活をしたい。(中1、男子、大阪府)
- 部活を選ぶのにも親の負担を考えると金額が気になり、やりたいと思った部活も断念するしかなかったので母子家庭の世帯の部費を一部免除してくれるような制度もしくは分割納入出来る制度を作ってほしいと思いました。(中1、女子、宮城県)
- 部活動にお金がかかる。大会に出る費用を私たち個人が出すから心配。(高1、女子、東京都)
- 部活は体操部に入ったのですが先輩の大会の応援の交通費が高すぎて母から参加を減らすように言われています。(高1、男子、東京都)

中学・高校入学費用を含む学校生活にかかる費用全般(授業料、制服代、通学費、教科書・教材代、学校指定品にかかる費用、修学旅行費、部活動など)について、具体的な懸念や要望があれば教えてください。(保護者、自由記述)

- 修学旅行、お姉ちゃんは欠席したので、行かせてあげたい。(中1の母、ひとり親、佐賀県)
- 授業料など無償化となっておりますが、支援学校は無償化ではないので、ひとり親世帯には困難な所があります。(高1の母、ひとり親、岩手県)
- 公立も私立も、必要な金額を全て完全明記して新入生募集をして欲しいです。入学後いくらかかるのか、とても不安になります。できたら無償化と言われる授業料に全て合算して欲しいです。(高1の母、ふたり親、大阪府)
- 制服代がとにかく高いと思う。リサイクルの話があったが、制服の注文が締め切られてからだったので使えなかった。(中1の母、ひとり親、埼玉県)
- 私学の場合授業料が無料になったとしても、そのほかの施設設備や諸費用が高いので負担が無くなるわけではない。また、制服やパソコン代でも費用がかかり、初年度の出費がかさみます。(高1の母、ひとり親、兵庫県)
- 学校で使う物は原則学校の備品として用意してもらいたいです。個人で用意することに疑問がある物も多いです(画材セットや裁縫セット、習字道具など)。(中1の母、ふたり親、大阪府)
- 制服代が本当に高すぎると感じた。ほとんど同じような制服デザインなのに韓国では3万円程度で買えるし最初の1着は国が費用を負担してくれると聞いた。日本も早くそうなって欲しい。(高1の母、ひとり親、青森県)
- 今年から高校生が2人となり、前々から覚悟はしていたものの始まってみると、ひとり親の身としては先行きに不安しかない状況です。給食もなくなり、通学にも定期必須、経済的理由で希望校への進学を断念する事になった為、せめて部活動は好きな事をさせてあげたく入部を進めましたが、内心は部費の出費も重荷になる為、頭が真っ白状態です。(高1の母、ひとり親、栃木県)

※自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。
()内は、回答者の属性、世帯の状況、居住地。

**政府は現在、子どものための支援施策を拡充するための予算を増やす議論を進めています。特に子どもの学ぶ権利を保障するために、行政に伝えたいこと・望む政策を具体的に教えてください。
(保護者、自由記述)**

- 住んでる地域によって支援にかなり格差があるように感じます。子供の支援は自治体ごとではなく、国で統一してほしいです。(高1の母、ひとり親、和歌山県)
- 障害があっても入学前給付や就学援助に入れる様にして欲しい。奨励費は納得がいかなかった。(中1の母、ふたり親、兵庫県)
- 奨学金制度が私達が住んでいる市は分割支給で支払いに間に合わなくて借入れが困難でした。学校と連動してくれると嬉しいです。入学支援金も春ではなく7月支給で入学までにとても間に合わず自分で支払って後で支給という形でした。準備金が無いから申請するのに必要な時に支給されないのは無意味です。(中1の母、ひとり親、静岡県)
- 子どもが学びたいやりたい事があると考えた時にお金のことで諦めなくてはならない社会では子どもの権利を保障するとは言えないと思う。子どもまんなかと言いながらも物価高騰で学ぶ事、学ぶ以前の必要な物を揃える事も公立の学校は進んでいても難しい状況になってしまっている。少子化となり子どもの数が減っているのであれば、子どもを社会で育てていく環境を考えていただきたい。(中1の母、ひとり親、神奈川県)
- 中学までは低所得家庭の就学援助が手厚かったのですが、問題なく通うことができたが、高校になると自己負担がこんなにも高くて大変なことを初めて知りました。生活費を削っての対応だったので、高校になっても安心して入学、通学できるよう行政から就学援助があれば大変助かります。(高1の母、ひとり親、兵庫県)
- 高校もお金がかからないようにしてほしい。援助を申請することも困難なので、所得に応じて自動給付にしてほしい。申請を援助してほしい。今回のように制度を教えてもらったり、申請を手伝ってもらえるか分からない。(中1の祖母、その他、岩手県)
- 私立高校はもちろんですが、公立高校でもやはり施設費、積立、教材費その他もろもろやはりお金がかかります。学ぶ為にパソコンや電子辞書も用意しなければならないし、通学のために自転車を購入したり、育ち盛りだから食費もかかります。模試を受けたり英検を受けたりその検定費用も授業料以外にかかるので、高校も今の時代行かない人はほとんどいないと思いますので、義務教育は高校までにするなどして授業料の負担などを減らして頂けると良いと思います。(高1の母、ひとり親、埼玉県)

※自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。
()内は、回答者の属性、世帯の状況、居住地。

卒業・新入学にかかる費用について、感じていることがあれば教えてください。あなたが思うことを自由に書いてください。(中高生、自由記述)

- 入学金、施設費、初回の学費、制服、入学するのに1年分の生活費がなくなる。お母さんが栄養失調になった。(高1、女子、和歌山県)
- 指定の物などの金額が高いです。電車の定期券なども半年分とかになると何万もかかり親が大変そうです。親に迷惑を掛けたくありませんが、定期代はどうにもなりません。助けて欲しいです。(高1、女子、東京都)
- いらぬ教科書とかがたまにあるので最初にちゃんと確認して欲しいと学校側におもいました。また、指定の服や小物じゃないといけぬのはよく分からない。とくに靴は自由でいいと思った。(高1、女子、東京都)
- 制服代金が高いです。リサイクルショップで購入しましたが新品がほしかったです。(中1、男子、沖縄県)
- 公立高校に入学出来たけれど公立高校でもやはり制服代施設費や授業料、パソコン購入や電子辞書なども購入しなくてはいけなくてたくさんお金を親に使わせてしまったと思います。(高1、女子、埼玉県)
- 高校に入学するのに、思った以上に沢山お金がかかることがわかった。私が高校に入学することで家がより貧乏になった。高校で自分の好きなことをしたいけれど、とても難しい。(高1、女子、鳥取県)
- 僕は、いくらかかるとかわかりませんが、母が大変そうにしているのが見てわかるので、新しい靴や鞆が欲しいって言えなかった。だけど、母はちゃんと準備してくれて本当に嬉しかったです。(中1、男子、沖縄県)
- 私の為には両親が必死で仕事をしていてくれるのはありがたいですが母が朝から次の日の朝までほぼ毎日働いていて疲労や寝不足で死んでしまわないか、いつ寝ているのか凄く心配です。母に聞いても大丈夫だよ！心配してくれてありがとう！しか言わぬのでこの様な支援をして頂けるのは私の心にも両親にも安心して一緒に落ち着いた時間と楽しい時間を一緒に過ごし、中学の準備が出来たことが凄く嬉しかったです。(中1、女子、兵庫県)
- 勉強がしたいだけなのに、親にどんどんお金を出させなければぬことが辛いです。お金がかかぬようにしてほしいです。(高1、女、埼玉県)
- 卒業、入学のたびにお金がたくさん必要になるので、おめでたいことなのに素直に喜べぬ。親が悩むのが心配で不安になる。(高1、男、沖縄県)

※自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらぬ範囲で編集している場合がある。
()内は、子どもの学年、性別、居住地。

あなたがいま心配なこと、困っていること、家庭や学校生活、住んでいる地域が「こうなればよい」と思っていること、大人や市町村、政府に伝えたいことがあれば、書ける範囲で具体的に教えてください。(中高生、自由記述)

- たくさん学びたいことがあるのに何にでも制限がある。(金額が高い、設備がない、教えてくれないなど)もっと自由に悩みなく学びたい。(高1、女子、千葉県)
- 学校生活でかかる全ての費用を無料にして欲しい。靴、カバン、教科書、制服、カバン、文具類、学校に納めるお金、交通費、部活で必要な物。お金の不安がなくなると、安心して学校生活を過ごせると思う。(高1、男、沖縄県)
- 自分たちが進みたい進路に経済的に諦めることのない平等な選択がほしいです。そのことで親を責めたりしたくないからです。(高1、女子、東京都)
- クラブ活動がしたいけど道具を買えない。塾に行きたいけど行けない。(中1、男子、京都府)
- 勉強がむずかしくなるので、教えてくれる場所があればいいと思う。家がせまいので勉強をする場所が近くにあるといい。(中1、女子、埼玉県)
- 公立高校でもお金がかかるので、親に負担をかけていると思う。お弁当以外にも学校でお腹が減ったりのだ乾いてもお小遣いも少ないので買うことをすごくためらう。親にお小遣い増やしてくれとも言えないし学校はバイト禁止なので困っています。高校も中学校みたいに義務教育になればそんなに親にお金の負担をかけないと思います。(高1、女子、埼玉県)
- 経済的な理由で進級、進学ができるかがとても心配です。授業料の補助金などもあるのですが申請してから支給されるまで長い時間かかる様で、一時的にたてかえるのがとても困難です。たてかえしなくて済む様になると良いと思います。(高1、男子、千葉県)
- お金がないのに浪人したらどうしよう。母にもおかずを食べてほしい。携帯電話がない人には部活の連絡がこない。食べ物がなくて子ども食堂に行っているが、両親そろった家族で来ているお父さんが何度もお代わりまでして食べつくしてしまっ、「ごめんね。おかずない。」とか言われてしまう。時間内に毎週必ず行っているんだから1人分とっておいてほしい。(高1、男子、東京都)
- わたしは仮放免なので、高校の授業料が無料になりません。できればわたしにもそのチャンスをお願いしたいです。(高1、女子、埼玉県)
- みんなが持っているものが買えなかったり、やっていることをいっしょにできなかったりするのはいや。おばあちゃんには年金をもらっているから児童扶養手当がもらえないそうなので、子どもを育てるお年寄りにも児童扶養手当をだしてください。(中1、女子、岩手県)

※自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。
()内は、子どもの学年、性別、居住地。

調査結果をうけた提言

経済的に困難な状況にある世帯では、卒業・新入学準備にかかる費用の家計への負担は依然として重く、保護者のみならず中高生の子どもたちも費用に対する不安を抱いていることが本調査から明らかとなった。困難な状況にある子どもたちの学ぶ権利を保障するため、セーブ・ザ・チルドレンでは申請時に行ったアンケート調査結果※をもとにした以下3点を引き続き提言する。

1. 学校指定品以外の選択を可能にし、価格の見直しを
2. 新入学にかかる費用の支援制度の拡充
3. 高校入学前の準備金の創設

※セーブ・ザ・チルドレン「子ども給付金 ～新入学サポート2024～」
申請時アンケート調査結果報告書 ダイジェスト版, p.11参照

上記に加え本調査結果を基に、以下2点の改善を新たに訴える。

1. パソコン・タブレット代の負担に関する実態把握と国による助成の拡大を

国はGIGAスクール構想の高等学校段階におけるICT環境整備のため、1人1台の端末導入を推進している。一方で、端末の購入について、公費負担または保護者負担とするかは各都道府県や自治体、学校で対応が異なる。全額私費負担の場合、機器本体以外にかかる費用も含めると高額となり、経済的に困難な世帯の家計への負担は非常に大きい。国は、自治体や学校ごとによる対応状況の実態把握を行い、高校段階においても子どもたちが経済的負担なくパソコン・タブレットを用いて学ぶことができるよう、助成を拡大すべきである。

2. 部活動・クラブ活動の費用の財政的措置を

入学時に自分の希望するスポーツや文化活動を選択・経験することは、子どもの自己決定や成長・発達において意味を持つが、費用の捻出が難しくあきらめざるを得ない子どもたちが存在することが明らかとなった。本調査では、部活動・クラブ活動への支援を求めている中高生が6割を超えており、入学時から希望する活動を選択できるような経済的負担の軽減が求められる。国や自治体は、備品の共有化のほか、就学援助制度や高校生等奨学給付金における部活動・クラブ活動費の単価引き上げなど財政的措置を進めるべきである。

子ども給付金 ～新入学サポート2024～ 概要

【実施期間】	申請受付:2024年1月10日～1月26日
【対象者】	2024年4月に中学校や高校等に進学予定の新中学1年生(定員400人)、新高校1年生(定員600人)
【申請条件】	<p>申請時に日本国内に居住し、以下の対象条件A～Cすべてに当てはまること</p> <p>A. 現在の生活状況が①～⑤のいずれかの条件に当てはまること</p> <p>① 対象となる子どもまたは同居している家族に障害がある。</p> <p>② 対象となる子どもまたは同居している家族に日常的な支援または介護を必要とする疾病がある。</p> <p>③ 対象となる子ども・保護者の両方またはどちらかが日本語を母語とせず、日常生活を送る上で日本語によるコミュニケーションが困難な状況で支援を受けている。</p> <p>④ 対象となる子ども・保護者の在留資格が不安定、無国籍といった理由で公的支援が利用できない。</p> <p>⑤ 上記①～④以外で下記に該当する。</p> <p>ア. 対象となる保護者が家庭内暴力(DV)を受けている、または、それにより避難している。</p> <p>イ. 対象となる子どもが保護者の代わりに、未就学のきょうだいのケアを日常的に行っているために学校の遅刻や欠席が多い、あるいは成績が落ちてしまうなど学業に支障が出ている。</p> <p>ウ. 疾病・障害以外の理由で父母以外が対象となる子どもを養育しているなど、家庭環境に事情があり支援を受けている。</p> <p>エ. ア～ウの条件以外で生活上相当な配慮が必要な状況にある。</p> <p>B. 住民税所得割が非課税または児童扶養手当全部支給相当の世帯、家計急変の世帯等、障害年金または遺族年金を受給し、2022年の年間所得が当会の定める収入条件を満たす世帯</p> <p>C. 対象となる子どもの卒業・入学に関わる費用を用意することが難しいこと</p>
【給付内容】	子ども一人につき、新入学に関わる費用の一部を給付。返還の必要なし。 新中学1年生:3万円、新高校1年生:5万円
【実施方法】	セーブ・ザ・チルドレンのwebサイトやSNS、支援団体、自治体を通じて募集。申請された内容について、セーブ・ザ・チルドレン内で対象条件に基づき審査を行った上、給付金を提供(2024年3月中旬から順次給付開始)。